大学・高専機能強化支援事業（支援２：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援）
【大学　一般枠、特例枠】実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F113310102966	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（特例枠）
大学名	北里大学	設置区分	私立	事業計画名	「生命科学×データサイエンス」教育・研究を加速させる「知のネットワーク形成」プログラム（北里大学）
学校種	大学	都道府県	東京		

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画（上欄：研究科等の設置等及びその準備（設置認可申請等）、下欄：教育環境の整備（施設整備、教員採用等）、教育活動の充実等の取組）と取組状況及び自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	8月　未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）設置認可予定 9月　未来工学部データサイエンス学科　定員変更届出予定	9月　未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）設置認可 9月　未来工学部データサイエンス学科　定員変更届出	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①8月末：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）（定員10名）設置認可予定 ②9月下旬：未来工学部データサイエンス学科　定員増（100名→120名）に係る学則変更届出予定 ③12月：ローベルト・コッホ研究所との協定更新に伴う、研究交流加速と具体的な体制を整備する。 ④12月～3月：大学院博士後期課程レベルの教育・研究内容について設置に向けての具体的な検討を推進する。特に社会人入学の博士後期課程学生に関して、学位論文の課題を職場から持込むことを奨励し、現場での具体的な問題をデータサイエンスを用いて解析し、その結果を現場にフィードバックできるように奨励する。その結果を学術的成果として博士学位論文に反映させることができるように、知財や職場及び大学で得た情報の管理方法などを含めて検討する。 ⑤12月～3月：学部の入学定員増に伴い、専任教員を増員することを計画する。そのためのリクルート活動を実施する。	①9月上旬：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）（定員10名）設置認可 ②9月下旬：未来工学部データサイエンス学科　定員増（100名→120名）に係る学則変更届出 ③2月上旬：研究力加速の一環として、Academia Sinica（台湾）でのインターンシップの実施について担当者間で合意、2024年度に夏期休暇を利用し大学院生を派遣予定。また、CSIRO（豪州連邦科学産業研究機構のデータサイエンス部門Data61）との連携（学生派遣の可能性を含め）について先方の担当者との検討を開始した。 ④10月～3月：2024年度開設予定の研究科修士課程に、企業からの入学者（社会人特別選抜は実施していないため、一般入試での受験）があり、現職における研究の持込みを含めた研究内容の擦合わせ、勤務先とのエフォートのバランス、知財や職場及び大学で得た情報の管理方法について、検討を開始した。 この社会人受入れを実例として、博士後期課程の設置認可申請に向け、制度としての具体化を図っていく。 ⑤9月～3月：学部の定員増に伴い大学設置基準上の人員を確保するため、文部科学省大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC）を12月に申請し、2月に適格の認定を受け、3月に学内で未来工学部教授との打合せを実施した。2024年9月任用予定。		
令和6年度	３月　未来工学研究科生命データサイエンス専攻（博士課程）設置認可申請予定	３月　未来工学研究科生命データサイエンス専攻（博士課程）設置認可申請	令和6年度自己評価	【２】計画を十分には実施していない。
	①4月～10月：修士課程及び博士後期課程での教育・研究のために必要な計算機環境について、実際に修士研究課題に取組みながらサーバースケールアップの計画を検討する。特に、人工知能研究におけるハイパーパラメータのチューニングなどでどれくらいの計算量が必要とされるかを具体的な問題で検討し、修士課程の定員増と博士後期課程開設に向けての準備を行う。 ②4月～12月：前年度に引き続き、専任教員を増員することを計画する。そのためのリクルート活動を実施する。 ③3月：未来工学研究科博士後期課程（定員5名）：設置認可申請予定	①4月～：修士課程及び博士後期課程での教育・研究のために必要な計算機環境について、WGを設置し、次年度のサーバースケールアップ計画に向け、特に、人工知能研究におけるハイパーパラメータのチューニングなどでどれくらいの計算量が必要とされるか等、具体的な検討を継続している。 ②4月～2月：前年度に引き続き、専任教員を増員することを計画する。そのためのリクルート活動を実施した。その結果、想定よりも円滑にリクルートが進み、2025年度の増員に向けて、文部科学省によるAC教員審査を受審した結果、学部5人・修士課程4人の新規任用について「適格」の判定を受けることができた。 ③3月7日付で、未来工学研究科博士後期課程（入学定員5名）の設置認可申請を行った。	教員確保、博士後期課程の設置認可申請については計画通り実施できたものの、自動化実験装置導入に係る工事の必要性等から、そちらに時間を要する状況となり、サーバースケールアップ計画に関する検討については令和6年度において十分に議論をすることができず、令和7年度に継続することとなったことから、「十分には実施していない」と自己評価した。	
令和7年度	８月　未来工学研究科生命データサイエンス専攻（博士課程）設置認可予定	８月　未来工学研究科生命データサイエンス専攻（博士課程）設置認可	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
	①4月～3月：前年度～今年度の検討結果を踏まえ、サーバーをスケールアップする。ただし、一部作業については令和8年度に繰り越すこととする。また、今後の生命科学の動向として、実験室環境の自動化が飛躍的に進み、それによりウェットバイオロジーにおけるデータ量の増大やデータ精度の急速な向上が望まれることを念頭に、これまで実験を行なってこなかったデータサイエンティストに自動化環境で実験を行うことを経験させ、自動化環境を制御するバイオエンジニアリングのためのデータサイエンスを目指した自動化実験機器~~（産業用ロボット「まほろ」等）~~（Fluent液体分注機等）を導入しバイオ自動化実験を可能とする。（R7.9.24承認） ②4月～3月：学部の入学定員増に伴い、専任教員を増員する。特に、年齢・性別が異なる教員集団を配置することを企図し、向こう20年以上にわたって責任を持って本研究科・学部での教育に責任をもって当たることが可能な若手教員の採用を進める。~~そのためにまず、特任教員として任用し、専任化を進める計画とする。~~（R7.9.24承認） ③5月～9月：留学生獲得に向けて、本学の海外協定校に働きかけ、特に環境問題に関心が深いと思われるアジアの各校から留学生を迎え「未来工学部研究室インターンシップ」を実施する。海外の学部2・3年生をインターンシップ生として招き、未来工学部の国際化推進及び本学の学生との間にデータサイエンスの学びにおいてシナジー効果を醸成する。 ④8月末：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（博士後期課程）（定員5名）：設置認可予定 ⑤3月：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）：第1期生修了	①4月～3月：前年度～今年度の検討結果を踏まえ、サーバーをスケールアップを行った。ただし、一部作業については令和8年度に繰り越すこととした。また、今後の生命科学の動向として、実験室環境の自動化が飛躍的に進み、それによりウェットバイオロジーにおけるデータ量の増大やデータ精度の急速な向上が望まれることを念頭に、これまで実験を行なってこなかったデータサイエンティストに自動化環境で実験を行うことを経験させ、自動化環境を制御するバイオエンジニアリングのためのデータサイエンスを目指した自動化実験機器（Fluent液体分注機等）を導入しバイオ自動化実験を可能とする環境を整えた。 ②6月～11月：学部の入学定員増に伴い、専任教員を増員する。特に、年齢・性別が異なる教員集団を配置することを企図し、向こう20年以上にわたって責任を持って本研究科・学部での教育に責任をもって当たることが可能な若手教員の採用を進めた。令和8年度からの講師1名の任用について、令和7年9月文部科学省へのAC教員審査を行い、11月に「適格」の認定を受けた。 ③5～2月：令和7年6月23日付で学術交流協定を締結したガジャマダ大学（インドネシア）から、令和7年7月6日～7月19日にかけて、2名のインターンシップ生を受け入れた。さらに、ガジャマダ大学とはこの後も学術交流に関して議論を進め、ガジャマダ大学大学院数学・自然科学研究科と北里大学大学院未来工学研究科、両大学院の修士の学位を同時に取得できるダブル・ディグリープログラムの実施について、令和8年２月23日付で協定を締結した。 ④8月末：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（博士後期課程）（定員5名）：設置認可 ⑤3月：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）：第1期生修了		
令和8年度	４月　未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）定員変更届出予定		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）定員増（10名→45名）に係る学則変更届出予定 ②4月：修士課程の増員と博士後期課程の開設を迎えるため、前年までに準備してきたサーバー環境と実験自動化について、それらの利用する教育・研究を実際に実施し、教育内容の充実を図る。併せて、細胞状態を大規模かつ網羅的に調べるライブセルイメージングシステムを導入し、自動化実験機器と協同で働かせることにより、ハイスループットかつ遠隔で細胞を「操作」・「調べる」教育・研究環境を大学院に整備する。（サーバー環境増強の一部については令和8年度も引き続き実施する）。（R7.9.24承認） また、国内外の大学や企業、研究機関等の共同研究等を通じてデータサイエンスについて興味を持つ企業等との連携を進める。 ~~③4月～3月：前年度に任用した特任教員について、引き続き2年目も任用を継続し、専任化を進める計画とする。~~（R7.9.24承認） ④5月～10月：未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程・博士後期課程）に、女性枠の入試制度を設け、女性研究者の比率を高める取組みを進める。現状、本学部第1期生の男女比は7:3であるが、これを大学院では5:5を目指す。 ⑤9月～10月：「未来工学部研究室インターンシップ」に参加した海外留学生を対象とした、未来工学研究科生命データサイエンス専攻（修士課程）への推薦入試制度を実施し、継続的な研究活動の実現及び留学生研究者の確保を推進する。 ⑥3月：未来工学部データサイエンス学科：第1期生卒業			

令和9年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
	①4月～10月：計算機環境をフルに利用するような大規模計算によるデータサイエンスの大学院レベルでの教育・研究を加速する。併せて実験環境自動化によるバイオエンジニアリングの可能性と将来性について、実際に装置を利用しながら教育・研究を進める。 ②6月～12月：国内外大学との連携をさらに強化するとともに、自治体・地域との連携事業を加速する。			
令和10年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	北里大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の〇の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、学部を置かない大学や新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 志願者数の状況や入学定員及び収容定員充足率等を踏まえた十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）

④ 特定成長分野のうちデジタル分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる研究科・専攻等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野のうち情報系分野に係る研究科、専攻、コース等の設置・増員（研究科、専攻の定員の増員を伴わないものを含む。）、専攻に係る課程の変更（研究科、専攻、コース等の設置・増員及び専攻に係る課程の変更に伴う学部、学科、コース等の設置・増員（学部、学科の定員の増員を伴わないものを含む。）を含む。）（以下「研究科等の設置等」という。）による体制強化の計画であること。なお、コース等の設置・増員による体制強化の場合は、学則において、コース等の募集人員数を明記する計画であること。

⑦ 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る研究科等の設置等の取組であること。

⑧ 教育の実績を有する既設の情報系分野に係る研究科、専攻（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学において、高度情報専門人材を育成する計画であること。（大学（特例枠）については、既設の情報系分野に係る学部、学科（授与する学位が、学位種類分野変更基準に定める理学関係、工学関係又は農学関係のいずれかを学位の分野として含むものに限る。）を有する大学とする。）

⑨ 機構による事業計画の選定があった日から２年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる研究科等の設置等を行う計画であること。

⑩ 計画の対象となる研究科等の設置等において、大学院修士課程（博士前期課程を含む。）15名以上又は大学院博士課程（博士後期課程を含む。）５名以上の入学定員の増員を行う計画であること。

⑪ 国立大学について、大学全体の収容定員の増員を伴う学部定員の増員を行う場合は、国立大学法人の第５期中期目標期間終了時までに他学部・他学科を中心に同規模の定員減を行う計画であること。

⑫ 教員の確保・配置状況等を踏まえた実現可能性の高い計画になっていること。

⑬ 文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑫の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の〇の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
すべての項目が要件を満たしている												

①～⑫の要件を満たしていない又は対象でない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑬,⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑬,⑭について	現在の状況
⑬文部科学省が実施する数理・データサイエンス・ＡＩ教育プログラム認定制度における「応用基礎レベル」について、大学又は計画の対象となる学部若しくは計画の対象となる研究科に関連する主な学部が認定を受けている、又は認定を受ける計画があること。なお、学部を置かない大学で、本認定制度の対象に該当しないものについては、本要件は適用されない。	認定を受けている
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績及び申請時の計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

① 地域において自治体や企業等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
各研究機関や企業との共同研究をはじめ、それらから派生する企業等との連携を活かし、学部教育におけるインターンシップや、大学院進学後の外部研究を視野に入れ、研究に限らず教育でも連携を進める計画としている。 併せて、本学では相模原市との連携事業を推進していることから、データサイエンスを活用した連携(医療分野や災害対策等)についても新たに推進を進める。また、既に本学医学部救急救命医学、相模原市消防局、ソフトバンク株式会社、凸版印刷株式会社と本学部との共同研究により、救命救急における映像伝送システムの開発に着手している。これは、救急隊による救急業務を大学病院との映像共有によりスムーズ且つスピーディーに実施するとともに、現場活動映像をビッグデータとして蓄積し、AI解析による救急業務の作業の効率化や安全化に繋がる新たな知見をもたらすための取組みである。また、高度なセキュリティ対策も行い、プライバシー情報を守り診療の質を担保することも目標としている。 このように、地域医療や防犯、防災等、データサイエンスを活用した地域貢献についても加速度的に計画する。	令和7年度は、救急搬送時に取得される映像データをLLM（大規模言語モデル）によって文章化・要約し、医療機関側の情報把握の効率化及び患者受け入れの円滑化を目指す研究を推進した。解析対象は、複数の医療機関から提供された匿名加工済みの救急搬送映像であり、Google Colab上でAPIを介してLLM（Gemini）を用い、処理を半自動化したうえで要約生成を行った。複数のプロンプト設計を比較した結果、自由記述型では網羅性は高いものの視認性に課題があり、カルテ形式では整理性は向上した一方で不要記述や形式のばらつきが残った。これらを踏まえ、最終的に出力形式を明示的に指定したプロンプトを設計したところ、出力のばらつきが減少し、視認性及び一貫性が改善された。一方で、プロンプトで指示していない文章や不要な情報が出力されるケース、動画内容とプロンプト項目が一致しないケース、重篤な描写を含む映像でLLMの安全制限により出力がブロックされるケースも確認された。今後は、プロンプト制約の強化、動画内容に応じたプロンプトの切り替え、映像取得方法の標準化、専用に最適化されたLLMの活用、実際の医療処置記録との比較評価を進め、本手法の実用性をさらに検証する。 学部3年生向けの科目「インターンシップ」については、令和7年度は、多様な業種から最終的に計10社の協力を得た。 医療・生命系に加え、IT、建築、自動車、金融など幅広い分野の企業と連携し、学生の業界選択の視野拡大に資する体制を整えた。また、令和8年度に向け、新規協力企業の開拓を進め、すでに複数企業と打合せを開始しており、継続的なネットワーク形成を進めている。学生からは有意義な体験であったとの感想が寄せられ、協力企業からも参加学生に対する好意的な評価が得られるなど、継続的な協力につながる成果を得られた点は高く評価できる。	

② 初等中等教育段階の学校との連携に関する取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
本学において協定を結んでいる高等学校をはじめ、近隣の小・中学校の中で、特に相模原市或いは神奈川県に所在する学校との連携を深める取組みを計画する。具体的には、本研究科・学部の専任教員及び大学院生を講師に出張講義として、プログラミングや生命データサイエンスに関する講義を年間5校程度を目標として実施する。実際にプログラミングとは何かを教えた後に、リテラシーとしてプログラミングができることが、どのように我々の生活を変えるのかについて講義し、プログラミングの学びをエンカレッジすることを目指す。初等中等教育段階でのプログラミング教育は徐々に広まりつつはあるが、本学の特色である「生命科学」を含んだ内容は、本学独自の取組みとして高い受容を見込めると考える。また、これらの取組みにより大学院生が教育の実現場における指導経験や自身の研究内容をアウトプットする能力を醸成することができるとともに、教育現場におけるデータサイエンスの可能性を感じられる機会を創出でき、より高い教育効果を期待できる計画となる。	令和7年度も、入試広報や高大連携・地域連携の一環として、神奈川県内の中学校・高等学校（鎌倉女学院、横浜雙葉、フェリス女学院、横浜女学院）において、模擬講義を実施した。また、データサイエンスを主にした探求学習において、高校教員からの協力依頼を受け、湘南学園中学校高等学校におけるソーシャルリサーチ＆デザイン（SRD）の中間報告会に教員を派遣し、出前講義を行った（https://www.shogak.ac.jp/highschool/activities/74236/）。 順天高等学校（令和8年4月から北里大学の系列校）では、令和7年9月に同校のイベント「Global Week」に参加した。学部長含む教員2名が訪問し、学部の概要やデータサイエンス分野の重要性について説明する機会を得た。さらに、令和8年3月には、順天高等学校から、高校生を対象とした「情報講習」の講師派遣の依頼があったことに伴い、教員2名と学部3年生6名が訪問した。データサイエンス教育の推進に資する機会となっただけでなく、参加した学部生にとって、大学で学んだ内容を活かして後輩に指導する大変有意義な経験となった。	

③ 女子学生、社会人学生、留学生等の確保に向けた特色ある取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
留学生の獲得のため、本学の協定校に働きかけ、特に環境問題に関心が深いと思われるアジアの各校から留学生を迎え「未来工学部研究室インターンシップ」の実施を計画する。海外の学部2・3年生をインターンシップ生として招き、本学の学生との間にデータサイエンスの学びにおいてシナジー効果を醸成する。加えて本制度に参加した学生を対象とした修士課程への推薦入試を設け、継続的な研究活動の実現及び留学生研究者の確保を目指す計画を推進する。博士後期課程に関しては、データサイエンスの加速が期待される分野について社会人入学の枠を設け、企業での本体業務に役立つデータサイエンスについての専門家を育てる。広く研究成果を公表する機会の創出に向け国際学会等への積極的な参加を促し旅費についても支援を行う。修士課程と博士後期課程において、女性枠を入試制度に設け、女性研究者の比率を高める取組みを行う計画とする。現状、本学部1期生の男女比は7:3であるが、これを大学院では5:5を目指す。また、本学では博士の学生を対象とした「女性研究者のための研究・育児両立支援助成金」を設けており、女性枠で入学した当該学生については、本制度の積極的な活用を推進し研究と育児の両立を支援していく。	インドネシアのガジャマダ大学との協議を進めた結果、令和7年6月に正式に学術交流協定（MoA）を締結し、同年7月に約2週間、未来工学部の研究室にインターンシップ生を受け入れた。研究室配属を控えた学部3年生や、研究室に所属する大学院生との小規模ながらも密な交流を研究室単位で行うとともに、滞在終了時には、学生及び教員が出席する報告会を開催し、データサイエンス教育における実りある国際交流を展開した。さらに、ガジャマダ大学とはこの後も学術交流に関して議論を進め、ガジャマダ大学大学院数学・自然科学研究科と北里大学大学院未来工学研究科、両大学院の修士の学位を同時に取得できるダブル・ディグリープログラムの実施について、令和8年2月に協定を締結した。具体的な運用開始に向けて、引き続き、議論を行っている。 博士後期課程については、令和7年8月末に設置が認可されたが、残念ながら令和8年度の入学者0人（受験者1人）となった。 修士課程については、令和9年度からの定員増に係る届出準備（令和8年4月届出済）とともに、入試計画として、推薦、一般（Ⅰ期、Ⅱ期）の他、女性枠、外国人留学生の選抜入試を策定した。	令和7年度修士課程在籍者には博士後期課程への進学希望者がいたものの、結果として他大学院進学や就職の選択となり、令和8年度の博士後期課程入学者は残念ながら0人（外部からの受験者1人）となった。 令和9年度からは未来工学部卒業生が修士課程に進学するため、受入環境の整備を行うため令和9年度から修士課程の入学定員増（10人→45人：令和8年4月届出済）を行った。そのため令和11年度からは博士後期課程の定員を充足できる見込みである。それまでの期間については、修士課程在籍者への広報や他大学・企業への働きかけを積極的に行い、入学者確保に努める。

④ 他の大学（外国大学を含む。）・高等専門学校等と連携した取組を行う計画となっているか。

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
ライフサイエンス系で既に協力関係にある藤田医科大学、杏林大学などとデータサイエンス科目について単位互換などの制度を充実させる。特に、データサイエンスの考え方がどのように生命科学や医療の現場で役立つのかについて具体的な例を通じて理解してもらうことで、協力関係にある大学でのデータサイエンス教育を加速することを目指す。また、包括連携協定を結んでいる慶應義塾大学とは情報科学や医学面での教育・研究協力を進める。そのために特任教員などの制度を利用し、研究交流を加速させる。北里のデータサイエンスが十分にカバーできていないVR、AR、MRについての連携を進めることは、今後の医療データサイエンス研究を考える上で重要となる。また、データ駆動型の加工技術など今後の未来工学部及び研究科の展開を考える上で重要な分野についても連携を深める予定である。北里大学が協定を結んでいる海外45協定校に働きかけることにより、教育・研究連携を加速させ、既に人的交流が盛んであるローベルトコッホ研究所やエジンバラ大学についても研究交流を進める計画とする。	慶應義塾大学との連携については、包括連携協定に基づき、一部の研究室において引き続き、同大学の大学院生を研究生として受け入れ、学位論文の指導及び研究交流を進めている。 国外大学との連携については、③に記載のとおり、インドネシアのガジャマダ大学との間で学術交流協定及びダブル・ディグリープログラム実施に係る協定を締結した。台湾のAcademia Sinicaにおける研究活動インターンシップの実施についても、令和7年9～11月にわたり修士課程の学生1名を派遣し、引き続き、教育・研究活動における連携を図っている。 令和8年2月には、Freie University（ドイツ）に在籍しながらコッホ研究所で研究を進めている博士課程の学生1名を人工知能研究室で受入れ、研究指導を行っている（令和8年7月末まで）。 また、JST先端国際共同研究推進事業（ASPIRE）において構築された国際共同研究における国際交流の１つとして、未来工学部助教予定者（令和7年9月に着任）を令和7年6~8月にかけてデンマークに派遣した（派遣当時は学振PD・受入は北里大学）。次年度も未来工学研究科修士課程2年の1名をデンマーク工科大学Piotr de Silva教授の研究室に派遣予定としている。	単位互換制度の充実については、未来工学部データサイエンス学科の完成年度後である令和9年度に向けて実施できるよう準備を進める。

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	北里大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況
令和6年度	実施状況報告書留意事項	○当初に計画していた教育・研究のために必要な計算機環境の整備に遅れが生じている。今後の事業計画に支障がないように、事業の着実な実施に努めること。	本学部の新校舎設置と共に導入されたサーバーをスケールアップすることを目的として本支援事業に申請を行っており、令和6年度にサーバースケールアップ WG を立ち上げて詳細な方針や導入業者の選定を行う予定であった。 しかしながら、基盤となるサーバーにおいて当初想定されていなかった初期不良が多く発生し、それらが解決するまでスケールアップの方針を立てることができず、WG を立ち上げたものの、詳細な議論は後ろ倒しとなっていた。 令和7年度にサーバーが安定的に稼働する状況となったことで、早急にスケールアップについての具体的な議論を始め、結果として、令和7年7月時点でサーバーのスケールアップ方針が確定した。会議体の承認・決裁手続きを経て、9月に発注を行い、既に納品を完了している。 スケールアップの一環として検討していた医療データを扱うサーバーに関しては、継続的に議論が必要なこともあり、次年度に先送りする計画変更（予算の一部も移行）を申請し、承認を得た（令和7年9月24日付）。 併せて、教員人材の確保が円滑に進んだことを受け、当初計上していた人件費については、物価高騰の状況を踏まえ、施設設備整備費への振り替えを行う計画変更を申請し、承認を得た（令和7年9月24日付）。 これらの対応により、令和7年度中には９割方スケールアップが完了し、遅延要因となった医療データ用のサーバーについても令和8年度には整備が完了する見込みである。

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（特例枠）	本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－１.博士課程

<内訳>

(1) 改組組織名：未来工学研究科生命データサイエンス専攻

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定		認可	開設															
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	-	-	5	5														
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	5															
		入学者数	人	-	-	-	0															
		女子学生数	人	-	-	-	0															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	5															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		就職者数	人	-	-	-	-															
		進学者数	人	-	-	-	-															
		その他	人	-	-	-	-															
		進路不明	人	-	-	-	-															
	大学院博士課程	満期退学者数	人	-	-	-	-															
		学位取得者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	13															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	34															

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置・増員＋学部等の設置・増員（特例枠）	本事業対象となる研究科等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－２.修士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	未来工学研究科生命データサイエンス専攻

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定・認可	開設		届出															
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	-	10	10	10	45														
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	10	10	10															
		入学者数	人	-	10	8	5															
		女子学生数	人	-	5	2	2															
		社会人学生数	人	-	1	0	1															
		留学生数	人	-	1	1	2															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	10	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	10	8	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	5	2	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	1	0	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	1	1	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	1.00	0.80	0.50															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	10	20	20															
		在籍者数(D)	人	-	10	18	12															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	1.00	0.90	0.60															
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	8																
		就職者数	人	-	-	7																
		進学者数	人	-	-	1																
		その他	人	-	-	0																
		進路不明	人	-	-	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	9	13	14															
		授業科目の単位数	単位	-	34	36	43															

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（特例枠）	本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる情報系組織の状況

１－３.学士課程

<内訳>

(1)

改組組織名	未来工学部データサイエンス学科

		年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
		改組状況		選定	増員		完成年度															
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	120	120	120	120														
		編入学定員	人																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	120	120	120															
		入学者数	人	105	123	129	129															
		女子学生数	人	30	33	38	44															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	2	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	120	120	120	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	105	123	129	129	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	30	33	38	44	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	2	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.03	1.08	1.08			-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	
	収容定員等	収容定員(C)	人	100	220	340	460															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	105	224	346	465															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.02	1.02	1.01			-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-	-			-	-	-			-	-	-	-	-	-	-	
		就職者数	人	-	-	-																
		進学者数	人	-	-	-																
		その他	人	-	-	-																
		進路不明	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	8	24	42	38															
		授業科目の単位数	単位	6	43	94	87															

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（特例枠）

２.情報系組織の状況

２－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	5															
		入学者数	人	-	-	-	0															
		女子学生数	人	-	-	-	0															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	-	-	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	0.00			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	5															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	0.00															
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-	-															
		就職者数	人	-	-	-	-															
		進学者数	人	-	-	-	-															
		その他	人	-	-	-	-															
		進路不明	人	-	-	-	-															
	大学院博士課程	満期退学者数	人	-	-	-	-															
		学位取得者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	13															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	34															

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（特例枠）

２.情報系組織の状況

２－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	10	10	10															
		入学者数	人	-	10	8	5															
		女子学生数	人	-	5	2	2															
		社会人学生数	人	-	1	0	1															
		留学生数	人	-	1	1	2															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	10	10	10	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	-	10	8	5	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	-	5	2	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	-	1	0	1	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	-	1	1	2	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	1.00	0.80	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	10	20	20															
		在籍者数(D)	人	-	10	18	12															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	1.00	0.90	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	8																
		就職者数	人	-	-	7																
		進学者数	人	-	-	1																
		その他	人	-	-	0																
		進路不明	人	-	-	0																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	9	13	14															
		授業科目の単位数	単位	-	34	36	43															

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（特例枠）

２.情報系組織の状況

２－３.学士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	100	120	120	120															
		入学者数	人	105	123	129	129															
		女子学生数	人	30	33	38	44															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	2	0	0	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	100	120	120	120	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数(B)	人	105	123	129	129	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		女子学生数	人	30	33	38	44	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		社会人学生数	人	0	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		留学生数	人	2	0	0	0	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.05	1.03	1.08	1.08			-	-		-		-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員(C)	人	100	220	340	460															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	105	224	346	465															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.05	1.02	1.02	1.01			-	-				-	-			-	-		
卒業後の状況	卒業者数等	卒業者数	人	-	-	-																
		就職者数	人	-	-	-																
		進学者数	人	-	-	-																
		その他	人	-	-	-																
		進路不明	人	-	-	-																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	8	24	42	38															
		授業科目の単位数	単位	6	43	94	87															

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（特例枠）

３.大学全体の状況

３－１.博士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	71	71	71	76															
		入学者数	人	66	66	59	71															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	71	71	71	76	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	66	66	59	71	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.93	0.93	0.83	0.93			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	259	259	259	274															
		在籍者数（D）	人	222	241	245	260															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.86	0.93	0.95	0.95			-	-		-	-	-	-			-	-		

３.大学全体の状況

３－２.修士課程

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	154	164	174	174															
		入学者数	人	220	231	216	241															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	154	164	174	174	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	220	231	216	241	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.43	1.41	1.24	1.39			-	-				-	-			-	-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	299	318	338	338															
		在籍者数（D）	人	440	463	463	471															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.47	1.46	1.37	1.39			-	-				-	-			-	-		

大学名	北里大学	改組内容	研究科等の設置･増員＋学部等の設置･増員（特例枠）

３.大学全体の状況

３－３.学士課程

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	1,783	1,944	1,924	1,924															
		入学者数	人	1,817	1,962	1,947	1,942															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員（A）	人	1,783	1,944	1,924	1,924	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学者数（B）	人	1,817	1,962	1,947	1,942	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE	TRUE
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.02	1.01	1.01	1.01			-	-				-	-		-		-		
	収容定員等	収容定員（C）	人	7,811	8,078	8,055	8,423															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数（D）	人	8,032	8,208	8,280	8,609															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.03	1.02	1.03	1.02															

４.外部資金の状況（全学）

年度		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	1,352,228	1,391,082																	

特記事項
